

池上線4駅目、駅の木造リニューアル

千鳥町駅でも実施

東急電鉄

東急電鉄(東京都、堀江正博社長)は、池上線の千鳥町駅で駅の木造化リニューアルを行うと発表した。戸越銀座駅、旗の台駅、長原駅に続き4駅目となる。多摩産材の木材を用いたホーム屋根の建て替えや、木材を利用した駅舎の内装の改修を行う。今年の冬に工事着手する計画だ。

また森林資源の循環を推進する「SOCIAL WOOD PROJECT」も開始する。

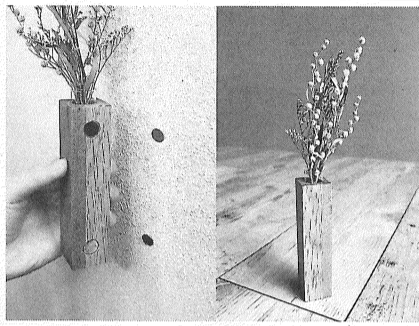
駅だけでなく同社が持つ様々な施設や設備へも木材の活用を拡大を図っていく。

具体的には、駅をはじめとする同社の様々な施設でも木を利用する「木材活用」をコア事業に、地方の木材を都市で活用する「地産都消」や、都市と地方の交流機会の創出などによる「地方創生」、日本の森林や林業が抱える課題にパートナーとともに解決法を探る

「モクリン」にマグネットタイプ

飛騨市産広葉樹の一輪挿し

ファーストペンギン



MOKURIN マグネットタイプ

「モクリン」(ニューウイ)において、岐阜県の飛騨市産材を使用した一輪挿し「ひだの森」さな一輪挿し「MOKURIN」(モクリン)の土台と試験管を組み

合わせたシンプルな形状だが、それぞれの木の個性を引き出している。商品は、「ホオノキ×ナラ」「サクラ×ナラ」の2種類。サイズは幅29×奥行29×高さ120mm、塗装はクリアオイル仕上げで、価格は税込み1430円。挿して飾るドライフラワーとのセット(税込み3190円)も用意している。

住宅性能から街づくりまで

統一感ある街並みへ

パッシオパッシブ

パッシオパッシブ(香川県丸亀市、佐藤大治社長)は、高断熱・高気密住宅に取り組むなかで、「必要とする性能の窓がない」ことから、自社で木製窓の工場を建設し、木製窓の供給を図っている。

同社は高断熱・高気密住宅を提供する密着住宅に取り組む地域動きが高まってきた。佐藤社長は「当時はNo.1の高気密住宅をつくる工務店として評価を得ていたが、2009年ごろからドイツのパッシブハウスが日本に導入され、地域でも

直面するなかで、自社で木製窓工場を建設することになる。ドイツの窓メーカーとライセンス契約を結び、2年前から自社生産を始める。自社使用だけでなく、各地でパッシブハウスなどに組み込む工務店にも販売している。

同社は住宅の性能にこだわらなく、街づくりへの取り組みも進めている。会社事務所の近くに19区画の街づくり「パッシオパッシブヴィレッジ」の研究し、枠材の断面を工夫することで重たいトリプルガラスのサッシも杉の枠材で対応できるように工夫している。

国産材や地域材活用にも意欲的に取り組み、木製窓も当初の欧州のオウシュウアカ松、北米のミツガなど



街並みにもこだわる「パッシオパッシブヴィレッジ」



剛司取締役は平日もこの活動があり、川上も木活動を行ってほしいと

米国西海岸風の規格住宅に新プラン
アエラホーム(東京都、中島秀行社長)は、住宅商品「THIE CA」(ザ シェア)に新プランを追加し、販売している。同商品は、カリフォルニア工務店(同、西村剛敏社長)と共同開

発し、2023年12月から販売している。カリフォルニア工務店が提案する、カジュアル感を押し出した「サンサイドハウス」、米西海岸の生活様式を想起する「オーシャンフロントハウス」、同じ西海岸の最新様式を取り入れた「ヒルトップモダンハウス」の外観イメージ



新プランとして追加するのは、サンサイドハウスの「サンサイドハウス」は、L型カバードポーチが特徴の2LDK平屋プランと、大きく横に広がるカバードポーチと玄関前カバードポーチが特徴の3LDK平屋プランとなる。

植林する箇所の除草も地元尼崎で森づくり活動
アマテイ(兵庫県尼崎市、佐藤亮社長)は5月22日、兵庫県立尼崎の森中央緑地で「森づくり活動」を実施した。同社は2022年からSDGsへの取り組みの一環として、兵庫県が実施する森づくり活動に地元企業として参画し、同活動を応援している。今回は植

わたくしの推し事
ジャズ



氏橋商店(東京都、氏橋 武史社長)の羽山孝一営業部長は、ジャズを愛聴し、東京都内のジャズバーにも出没する。

「当時のジャズバーは、いい場所であり、危険な大人の香りのする場所だった。ジャズバーはご飯もおいしく、ジャズバーで生まれて初めてピザを食べた」と当時を振り返る。

「ジャズは、仕事で海外出張に頻りに行くようになり、20代後半にジャズバーから離れ、以降ジャズに触れる機会がなくなった。50代のとき、知人からジャズシンガーのちゅうまけいこ氏のライブにたまたま誘われて、ジャズへの熱意が再び沸き上がったという。

「この認定制度は、22年12月に開かれた生物多様性条約締約国会議(COP15)で決まった国際目標「30 by 30(陸域と海域の30%以上を保全)」に基づき、環境省が創設したもの。

な雰囲気の「ピークハウス」の4様式をパッケージ化した規格住宅。そこに、アエラホームの「外張W断熱」といった断熱性や耐震性、全熱交換型換気システムなどの住宅性能を掛け合わせ、デザインと性能を両立している。

「ジャズは、仕事で海外出張に頻りに行くようになり、20代後半にジャズバーから離れ、以降ジャズに触れる機会がなくなった。50代のとき、知人からジャズシンガーのちゅうまけいこ氏のライブにたまたま誘われて、ジャズへの熱意が再び沸き上がったという。

「ジャズは、仕事で海外出張に頻りに行くようになり、20代後半にジャズバーから離れ、以降ジャズに触れる機会がなくなった。50代のとき、知人からジャズシンガーのちゅうまけいこ氏のライブにたまたま誘われて、ジャズへの熱意が再び沸き上がったという。

「ジャズは、仕事で海外出張に頻りに行くようになり、20代後半にジャズバーから離れ、以降ジャズに触れる機会がなくなった。50代のとき、知人からジャズシンガーのちゅうまけいこ氏のライブにたまたま誘われて、ジャズへの熱意が再び沸き上がったという。

「ジャズは、仕事で海外出張に頻りに行くようになり、20代後半にジャズバーから離れ、以降ジャズに触れる機会がなくなった。50代のとき、知人からジャズシンガーのちゅうまけいこ氏のライブにたまたま誘われて、ジャズへの熱意が再び沸き上がったという。」